

◆平成31年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】

井上 大地（神戸医療産業都市推進先端医療研究センター 血液腫瘍・研究部 上席研究員（グループリーダー））  
新規SWI/SNF複合体によるクロマチン三次元構造の制御とMDS発症機構の解明

【清水賞】

滝田 順子（京都大学大学院 医学研究科 発達小児科医学 教授）  
分子プロファイリングを基盤とした小児難治性造血器腫瘍の分子病態の解明と新規克服法の開発

【クレティゼン賞】

石津 綾子（東京女子医科大学 解剖学 形態形成学・顕微解剖学分野 教授）  
白血病幹細胞におけるミトコンドリア代謝及び外ロンボポエチンシグナルを解析し、白血病および骨髄不全症候群の病態解明および新規治療ターゲットの開発

【臨床医学特別賞】

森田 聖美（東京大学大学院医学系研究科内科学専攻 血液・腫瘍病態学 大学院生）  
シングルセルDNAシーケンス技術を用いた急性骨髄性白血病における微小残存病変の評価および微小残存病変の状態に基づく治療法の確立

【臨床医学特別賞】

浦山 ケビン（国立成育医療研究センター社会医学研究部 部長、学校法人聖路加国際大学 公衆衛生大学院 教授）  
小児白血病に関する包括的な疫学研究の実施  
一つ目は、小児白血病の発症要因に関する調査と分析で、二つ目は、生存者の医学的・社会的予後に関する追跡調査の実施である

【一般研究賞】(順不同)

齋藤 祐介（宮崎大学発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 講師）  
小児難治性白血病における代謝制御と抗がん剤耐性機序の解明

幸谷 愛（東海大学医学部 内科学系 血液腫瘍内科学 教授）  
EBVリンパ腫において、細胞外小胞の新しい作動原理を示唆する重要な知見を得た  
その腫瘍生物学におけるインパクトを造血ヒト化マウスモデルを用いて明らかにする

大口 裕人（熊本大学 生命資源研究・支援センター 疾患エピゲノム制御分野 准教授）  
新規多発性骨髄腫モデルマウスを確立し、骨髄腫病態の解明と新規治療法の開発を目指す

上久保 靖彦（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻ビッグデータ医科学部門 癌創薬イノベーション研究室 特定教授）

CROX(Cluster regulation of RUNX) 法による白血病制御機構の解明と、新規NFATc2阻害剤の開発

【若手奨励研究賞一般研究賞】(順不同)

小出 周平（東京大学医科学研究所 幹細胞分子医学 特任研究員）  
CRISPR-Cas9 sgRNA ライブラリを用いて骨髄異形成症候群の発症原因であるエピジェネティック遺伝子異常を有する細胞のみ致死誘導効果を示す遺伝子の探索

小野 林太郎（聖路加国際病院 小児科 医員）  
Helios™ マスサイトメーターを用いた小児急性リンパ性白血病の微小残存病変(MRD)検出法の確立

橋本 倫拓（九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医科学部門幹細胞再生修復医学分野 学振特別研究員）  
ミトコンドリア代謝解析による乳幼児期白血病病態解明

遠矢 嵩（がん・感染症センター 都立駒込病院 血液内科 医員）  
同種造血幹細胞移植後長期生存患者について標的シーケンスによりクローン造血の頻度と臨床的特徴を明らかにする

【ザ・レジェンド特別賞】

COST iBFM genetic variation working group, Familial leukemia/Lymphoma study group

高木 正稔（東京医科歯科大学 発生発達病態学分野 准教授）

PAX5 異常による家族性白血病発症機構の解明

◆平成31年度研究賞受賞者◆

---

【毎日賞】

東京小児がん研究グループ (TCCSG)

清谷 知賀子 (小児がんセンター 血液腫瘍科 医長 兼 長期フォローアップ科 医長)

東京小児がん研究グループ(TCCSG)における小児がん長期フォローアップのための小児がんサバイバー・コホート作成とデータベース構築